



Historical / Natural heritage
in Amagi town



ヨナマビーチに出没する危険な魚！？ ゴマモンガラにご用心

モンガラカワハギ科のゴマモンガラは、ダイバーから**サメやウツボより恐れられる魚**です。全長は75センチになり、特に繁殖期の6～9月には、縄張りを守るために凶暴になります。ダイビング中に耳をかじられたり、ウェットスーツの上から足を咬まれたなどの事故が起きていて、海外では指を失った事例もあるそうです。平成29年(2017年)ごろからヨナマビーチで見られるようになり、ことし月には58センチ4キロの個体を確認しました。(筆者の一人、山田が捕獲)今のところ被害は報告されていませんが、念のため見つけたときは、できるだけ早くその場を離れてください。

実は、いわゆるカワハギはうろこが無く厚い皮を持ちますが、モンガラカワハギ科では硬いうろこ皮が一体化し、鎧のようになっています。ビーチでよく見かけ、コツン!と攻撃してくるムラサメモンガラ(シマグチで「やちゃ」)も同様です。カワハギ科とモンガラカワハギ科では、分類の上ではベラ科のメガネモチノウオ(ナポレオンフィッシュ)と、スズメダイ科のカクレクマノミ(ファインディング・ニモ)くらい離れています。



平成30年



ことし令和4年

捕獲された雄と、ムラサメモンガラ



捕獲された58センチ、4キロの雄
シマグチで「じーらん」

尾の付け根には棘が!

持ち上げるときに注意



太くて頑丈な歯!



食味には定評があるそうです♪

皮をはぐのが大変なことにも定評があります…

もっと情報が見られる
電子版はこちら



※ ビーチ内で、ゴンズイやハナミノカサゴも確認されているので、あわせて注意しましょう。

編集: 天城町教育委員会 具志堅亮、山田文彦